

一関市大東町 大原だるま祭り

祭りの起こり

東北地方の農村に深刻な不況の風が吹きまわっていた大正12年(1923年)、折からの経済不況の中、大原町には腸チフスや赤痢等の伝染病が蔓延して、街は火が消えたようになり歩く人さえずなく、すっかり疲れた有り様だったそうです。

当時、地元の青年団体であった創元結社に所属していた若者たちの間に「病魔に冒されて疲れ切ったこの町を我々はこのまま見過ごしていいのか」という議論が高まり、当時20歳前後の若者が中心となり七転び八起きで縁起のいい大だるまを担ぎ出し、悪霊退散の祈願をするとともに、活力に満ちた街を取り戻そうということになったのです。

豊かなヒゲをつけ、高さ2.5メートルを越す大だるまが二つ、そして同じくらいの長さの大うちわに「悪霊退散」とか「悪病払い」の文字を書き込み、日が暮れてすっかり暗くなった街に担ぎ出されます。勢いよく走り抜けてはまた引き返し、その勢いで悪霊を吹き飛ばそうという祭りです。

また、一説には大正12年9月1日、突如起こった関東大震災の義援金の募金も兼ねて、正義感に燃える若者たちが、不況と病魔に打ちひしがれていた町を再建しようというねらいをもって9月にこの祭りを起こしたとも伝えられています。

戦局の動向により一時中断していたことがありますが、第2次世界大戦の終了後、昭和何年からかわかりませんが、8月15日の終戦記念日に復活したものです。

一関市大東町

七転
八起き

2025年
8月15日(金)
19:00スタート!
大原商店街

主催 大原だるま祭り実行委員会

悪病払い
悪霊退散

大原だるま祭り

令和7年
8月15日(金)
19:00スタート!

夏の風物詩ともいえる「大原だるま祭り」は、8月15日(金)午後7時から大原商店街において開催されます。旧大原中学校等卒業した若者たちによって催される夏祭りです。今日では大原小学校6年生の子どもたちも一緒に「小だるま」を担いで祭りを盛り上げています。

日程案内

◆花火打ち上げ (19:00)

- だるま一市かど出発 (19:00)
- だるま下町到着 (20:15)
- だるま西口公園河川敷へ移動
- だるま焚き上げ開始 (20:30)
- だるま焚き上げ終了 (21:00)

主 催 / 大原だるま祭り実行委員会
お問い合わせ / 大原市民センター内
TEL 0191-72-2282
FAX 0191-72-3965